

## 令和2年度第1回図書館協議会会議録

■ 日 時：令和2年7月23日（水）14時から15時まで

■ 場 所：中央公民館 視聴覚室

■ 出席者：委員（安藤雅哉、小木曾恵美、正村京司、井籠礼子、井上典子）

図書館指定管理者（理事長 安藤昇、館長 早川美幸）

教育長（山田幸男）、事務局（社会教育課 大山雅喜、宮地恵理子、榊原勝哉）

■ 欠席者：委員（小木曾文夫、田中真奈美、酒井順一）

■ 傍聴者：0名

● 内容（記録）：

1 委嘱状交付

2 あいさつ 教育長よりあいさつ

3 出席者自己紹介

4 会長選出・あいさつ

市民図書館の分室のある公民館長である小木曾文夫委員を推薦

出席委員、全員異議なしにより小木曾文夫委員を会長に選出

5 図書館協議会とは

事務局より資料2ページに沿って説明

6 協議事項 議事進行：大山雅喜（会長代理）

（1）令和2年度年間業務計画について

図書館指定管理者より資料3～7ページに基づき説明

新型コロナウイルス感染症の影響により計画していたものが中止になってしまっているものが多くある。今年度は特集本紹介コーナー（特に一般向け）を充実したいと考えている。

委員：毎年依頼していた中学2年生の職場体験が今年度はコロナの状況でできなくなってしまった。来年度から又よろしくお願ひしたい。

図書館：ホームページに学校関係者の方へというページができた。見学やブックトークなどのご要望について受け付けているので、ご覧いただきたい。

教育長：小中学校との連携について、放課後児童クラブや児童館には行っているか。

図書館：行ってはいないが、学童クラブは先生が50冊程度を入れ替えに来る形で団体貸出をしている。

教育長：他市だが以前放課後子ども教室に勤務していたことがあり、そのときには、図書館の方に来ていただいてブックトークなどをしていただいた経験がある。ぜひそういうところへ出かけてほしい。一度児童館の担当者と話してみてもどうか。

図書館：交流があるので担当者と話を詰めていきたい。

図書館：児童館へは図書館の派遣ではなくボランティアが各自で読み聞かせを行っている。

土岐児童センターだけは図書館が派遣している。

図書館指定管理者より資料に基づき、図書館のコロナ対策について説明

委員：コロナ対策については、ここ1日2日で瑞浪市の状況は大きく変わったと思う。

図書館自体はなくなることはない、感染対策をしっかり対応していただき、無理して業務を進めるよりも自重しながら、様子を見ながら業務を進めていただきたい。

図書館：昨日まで出来ていたことが今日から出来ないことがあった。明日からこういう形で行う、という様に早く情報共有し、早く対応しようとするため、職員の緊急連絡網としてLINEを使用することにした。これは、勤務体制の関係で職員全員がそろえることが少ないことによる。

教育長：瑞浪の新型コロナウイルス対策本部会議というのがあり、3月から既に31回会議を開いている。その中で刻々と変化していくが、4月頃に作った瑞浪市の感染状況レベルは1から4まであり、今はレベル3。レベル3というのは市内で感染者が発生した場合のこと。4月に作った感染状況レベル3でいうと、既に公共施設とか文化センターの貸し館を停止していることになっていたが、状況が変わってきたため見直している。以前の考えで図書館等を閉めてしまうことは現段階ではない。できる範囲内で開館をしていくなど状況によって見直しをしていくのでよろしく願います。

委員：書籍をアルコールで消毒していると書いてあるが、学校の図書はどのようにやっていくとよいか。

図書館：日本図書館協会ではそういった文言を方針に出してきている。瑞浪市では、以前はLLクリーナーというアルコールの入っていないもので行っていた。現在はアルコールの入っているものや、市からいただけるアルコール入りの消毒液で消毒をしている。図書館の本はビニールで覆ってあるので布やキッチンペーパーで拭いている。書籍については、いろいろな情報がでており、3日間放置しなければいけないというところもあるが、瑞浪市民図書館は消毒してそのまま書棚へ入れている。

図書館：緊急事態宣言時は、消毒をして1日放置をして、菌がない状態で書棚へ戻っていた。今は、緩和され消毒後すぐに書棚へ戻している。

委員：学校ではアルコール入り消毒液で拭いて、1日～3日置いて書棚に入れている。

図書館指定管理者より資料に基づき、新図書館システムの機能について説明

図書館：セルフ貸出の利用は多いと思う。子どもたちも楽しみにしている。

やはり、病気の本等は、他の人に見られたくない方もいるのでセルフ貸し出し機能が入ってよかった。

委員：今まで読んだ本の履歴を提示してほしいなどの要望を受けたとき、個人情報観点から提示するのが難しい履歴機能があるのはとてもいいシステムだと思う。今後、利用者からの評判も良くなるのでは。

教育長：セルフ貸出機について、もっているカードを差し込んでパスワードを設定すれば今

すぐ使えるのか？

図書館：セルフ貸出機はパスワードは必要なく、カードのバーコードをスキャンするだけで借りることができる。レシートも発行される。

カードを忘れると、セルフ貸出は利用できない。

カウンターでの職員による貸出は今までどおり。

## (2) 瑞浪市民図書館資料収集方針及び瑞浪市民図書館資料除籍基準について

事務局より資料8～15ページに基づき説明

委員：なくなる理由は貸した本が返ってこないということか。

図書館：いいえ、手続きをせず持ち出された本。貸し出している本は全てシステムで記録しており、その本については督促をして返してもらっている。

特にパソコン関係の本や料理本などの実用本が手続きをせず持ち出されたり、必要なページだけをやぶいて持って行ってしまったりする。職員の目の届く場所に置くなどの対策をしたことで少し減っている。

## (3) その他

ボランティアで約50年の間人形劇をしてくださっていたへちま座小劇場が昨年度をもって解散された。そのへちま座小劇場から展示用パネルの寄贈があったことについて報告。第2回協議会は令和2年10月に開催予定。

指定管理者による案内のもと図書館施設見学（システム、閉架書庫など）

以上